

遺伝子分析キットの新事業展開 (リウマチ等薬物代謝遺伝子分析) 対応に向けた体制構築

遺伝子情報を分析し提供する能力の向上を図るために、自動化解析システム及びバーコード検査管理システムを導入。安全、安心、信頼性を確保したサービスの実現と需要増に対応できる体制を構築した。



予防医療の推進を背景に、個人の遺伝子情報に基づく最適対応を求め、遺伝子分析キットの飛躍的な需要の増加が見込まれる。弊社衛生検査所では、検査数増大に対応できる遺伝子分析体制を新たに整備するため、検査自動化装置と検体管理システムを導入し、安全・安心・信頼性を確保した体制を構築する。

MOTIVES 設備投資のきっかけ

高齢化社会が進む中で、国民一人一人が健康自己管理の意識を高め、社会全体でその推進に努めていくことが必要となっている。

当社は「調剤薬局事業」と「遺伝子検査事業」を2本の柱にしているが、これらが効果的に結びつくことで、患者様が安心して、ご自身の体質に基づいたお薬を服用し、更にはご自分の体質を正確に把握された上で健康で快適な生活を一日でも長く続けられることを願う事業に取り組んでいる。近年、遺伝子分析への関心が高まり、検査ニーズも増加して、分析体制の強化の必要性を感じていた。

TARGET 事業の目標

遺伝子検査は、これまでは主に医療目的で実施され、感染症検査で採用されて以降、遺伝性疾患の診断へと広がっている。
近年、「遺伝子の情報」は、疾病予防・健康管理、美容等への応用も医療分野と同様に期待されており、健康サービスや、アンチエイジング、健康情報サービス等のソリューションとの組み合わせで、遺伝子分析が巨大な新市場となりつつある。このため、遺伝子分析キットでの検査数増大に対応できる弊社の体制整備を図るものである。

DETAIL&POINT 取り組みの内容

- 検査自動化装置の整備
自動化により、検査工程での検体取り間違いやデーターの転記ミスの防止、投薬に関わる検査の人的過誤が大幅に軽減できる。更に、検査の精度の向上、検査時間の短縮により、時間的コストとユーザーの報告期間の短縮化で市場ニーズに対応する。
- 検体管理システムの構築
必要書類、検体等のバーコード管理で人的過誤の防止、データベース化を実施。検査体制の信頼度向上と検体増加に対応する。



各種遺伝子分析キット

RESULT 事業の成果

- 検査自動化装置の整備
検査前処理のセットアップ以外が無人化され、分注処理スピード、1日当りの検体処理数ともに手作業の1.2倍程度の効率化を達成。検査数の増大にもフル稼働で対応中。
- 検体管理システムの構築
必要書類や検体等をバーコード管理することでデータベース化が図られた。検査の質の担保、個人情報・個人遺伝情報の取り扱い等を、正確で厳格に管理ができることが必須であり、これに対応できたことが高付加価値の検査品質保証としての信頼性を担保する基となっている。



当社の体質遺伝子検査は個々のサービスをより深掘りし、テラーメイド型の結果レポートになっている。

PROSPECT 今後の展望

- 「葉酸代謝遺伝子を調べ動脈硬化等のリスク要因検査」等の医学的に専門性の高い商品は、今後も専門家のご理解を頂き、研究者の学会会場等で商品のPRを図る。
- 健康やエクササイズニーズの商品はジュニア版を追加する等の顧客のニーズに合うよう商品数を増やし対応する。
特に、アルコール感受性遺伝子検査の活用で、企業や団体の新入社員研修等のセミナーを通し、アルコールの問題飲酒や適正飲酒等を協働して啓発活動の支援をしている。
- 新型コロナウイルス(SARS-CoV-2) RT-PCR検査を2020年11月から開始している。



遺伝子分析結果レポート



社員研修でのセミナー風景

～更なる成長へ向けて～

弊社の幅広い人的ネットワークもあり、各遺伝子検査サービスにおいて、監修する専門分野の医師と最新のエビデンスを共有しています。このため、より有用なレポート内容で対応し、顧客の満足度をアップして参ります。更には、肥満・アルコール・葉酸・エクササイズ遺伝子を活用して、より多くの病院や大学での臨床研究のお手伝いをさせて頂くと共に、健康管理や美容関係企業との連携を願っております。

CORPORATE DATE 事業者概要

イービーエス
株式会社

住所: 広島市安佐南区祇園3-26-3
電話番号: 082-832-5570
URL: www.e-b-s.co.jp/

代表者名: 道下 太英子
設立: 2002年
資本金: 1,000万円
従業員: 44名
事業内容: 分析事業、調剤薬局事業、健康食品等販売事業



代表取締役
道下 太英子